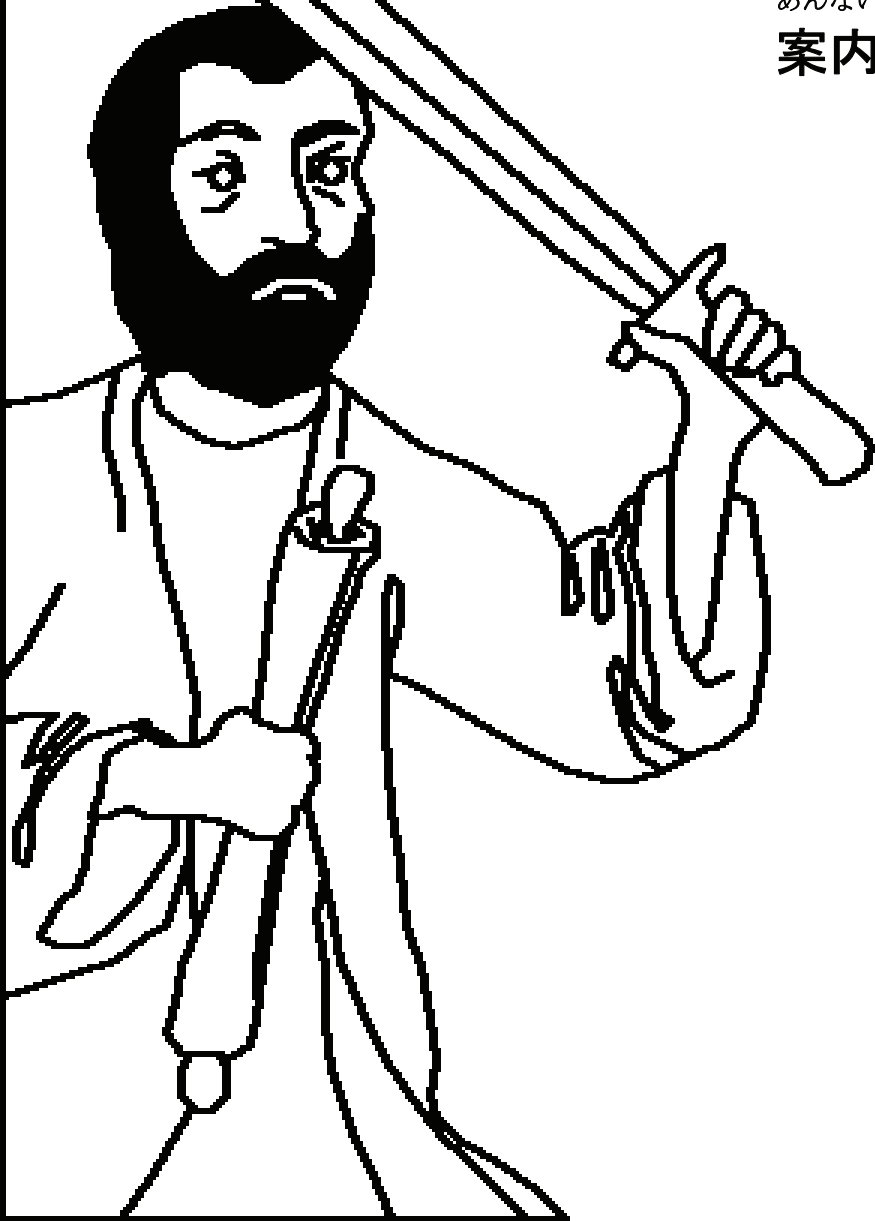


こども

子供のインターネットバイブル

あんない

案内いたします



しゃ

はくがい者から、

しゃ

でんどう者へ



ぶん

文: Edward Hughes

え

絵: Janie Forest

かいさくしゃ

改作者: Ruth Klassen

ほんやくしゃ

翻訳者: Yuko Kajiki

しゅつぱんしゃ

出版社: Bible for Children

www.M1914.org

BFC

PO Box 3

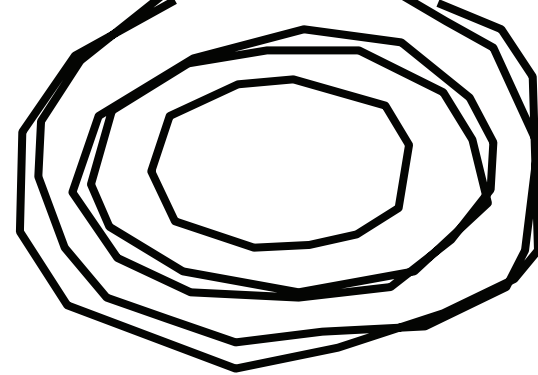
Winnipeg, MB R3C 2G1

Canada

©2010 Bible for Children, Inc.

許可: 他人に売らない限り このお話のコピー、又はプリントは、許可されています。





きょうかい
 ちょうど教会が、できあがったところです。

かみ きょうかい ひとびと
 神さまは、教会で、はたらく人々をと
 おして、すばらしいことをしてくださ

な
 いました。その中に、フィリポという名

おとこ ひと ひと ひとびと
 の男の人がいました。この人は、人々がたくさん

まち いちにちじゅう
 いる町で、一日中、イエスさまについて、

ひと
 はなしている人です。

でも、どうしてでしょうか。

かみ
 神さまは、そのフィリポを、
 ひと の
 人がほとんどいないあら野へ、
 おくられました。





かみ
神さまは、ひとりのたび人が、そのあら野を
びと
たびしていることを、知っていらっしやいま
し。そのたび人は、エチオピアのカンダケ
じょうおう
女王のところではたらいている、えらいし
しゃ
どう者です。かれは、ちょうど自分のいえ
じぶん
へ、かえるとちゅうのようです。

ほん
あれっ、なにか、とくべつな本を
よんでいますね。

ほん
みなさん、その本
は、なんでしょ
わかります

り。
か？



フィリポが、^{かみ}神さまが言われるとおり、^いあら野までやってくると、^の神さまは、^{かみ}
「^{しゃ}しどう者の方へ、^{ほう}すすみなさい。」

と、みちびか
れました。

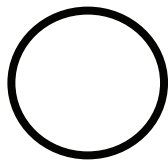
そのし^{しゃ}どう者は、
^{かみ}神さまのみこ

^{ほん}とばの本をよ
んでいました。
でも、いみが、
ぜんぜんわからない
ようですね。「いっしょに、
^い行きませんか。」かれは
フィリポをさそいました。



「これは、どういういみでしょうか。」しどう者は、
フィリポにたずねました。ばしやが、あら野のみち
をぐらぐらとすすんで行きます。ばしやにのって、
フィリポは口をひらき、その聖書のところをよく
わかるように、はなしました。そして、
イエスさまについておしえはじめました。

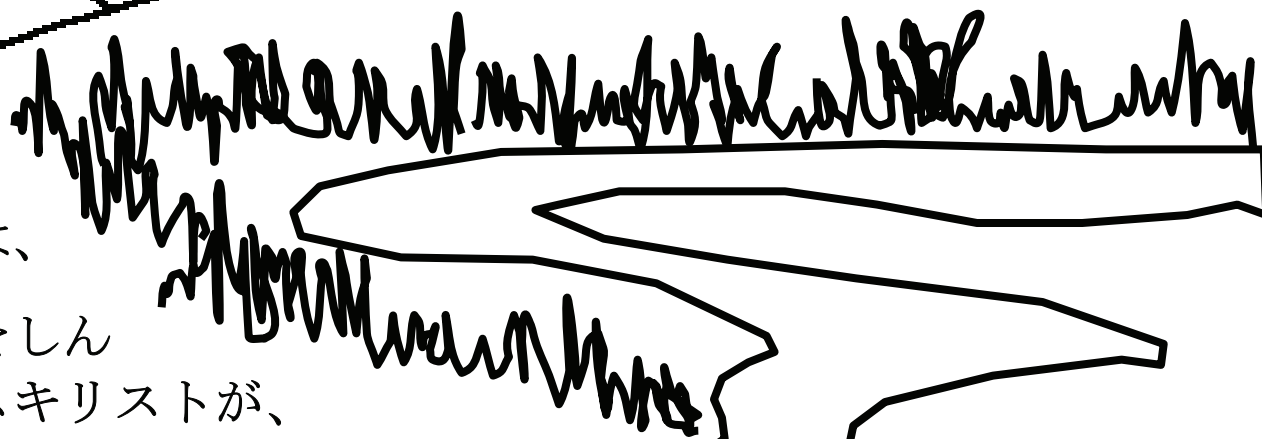




そのアフリカのしどう者^{しゃ}は、
すぐに、聖書^{せいしょ}のおはなしをしん
じました。それは、イエスキリストが、
かみ^{かみ} こと^{こと}
神さまのみ子であるということです。

そのとき、ちょうど水^{みず}があるところが見えました。

「あつ、水^{みず}だ。ここで、洗礼^{せんれい}をうけていけないことは、
ないでしょ？」しどう者^{しゃ}は、たずねました。



そこで、フィリポは言いました。「もし、あなたが心から信じるなら、もちろん、かまいませんとも。」しどう者^{しゃ}は、こたえました。「はい、わたしは信じ^{しん}ます。イエスキリストが、神さま^{かみ}のみ子^こです。」
それをきいたフィリポは、しどう者^{しゃ}を水^{みず}のところへつれて行って、洗礼^いをさ^{せんれい}ずけました。





ふたり みず あ
さて、二人が水から上がってきたときです。

しゅ せいれい
主がおくられた聖霊が、あっというまに、フィリポをとおいところへ、つれさってしまいました。

い
どこへ行ってしまったのでしょうか。もう、
どこにもフィリポのすがたが見えませんか。
でも、アフリカの

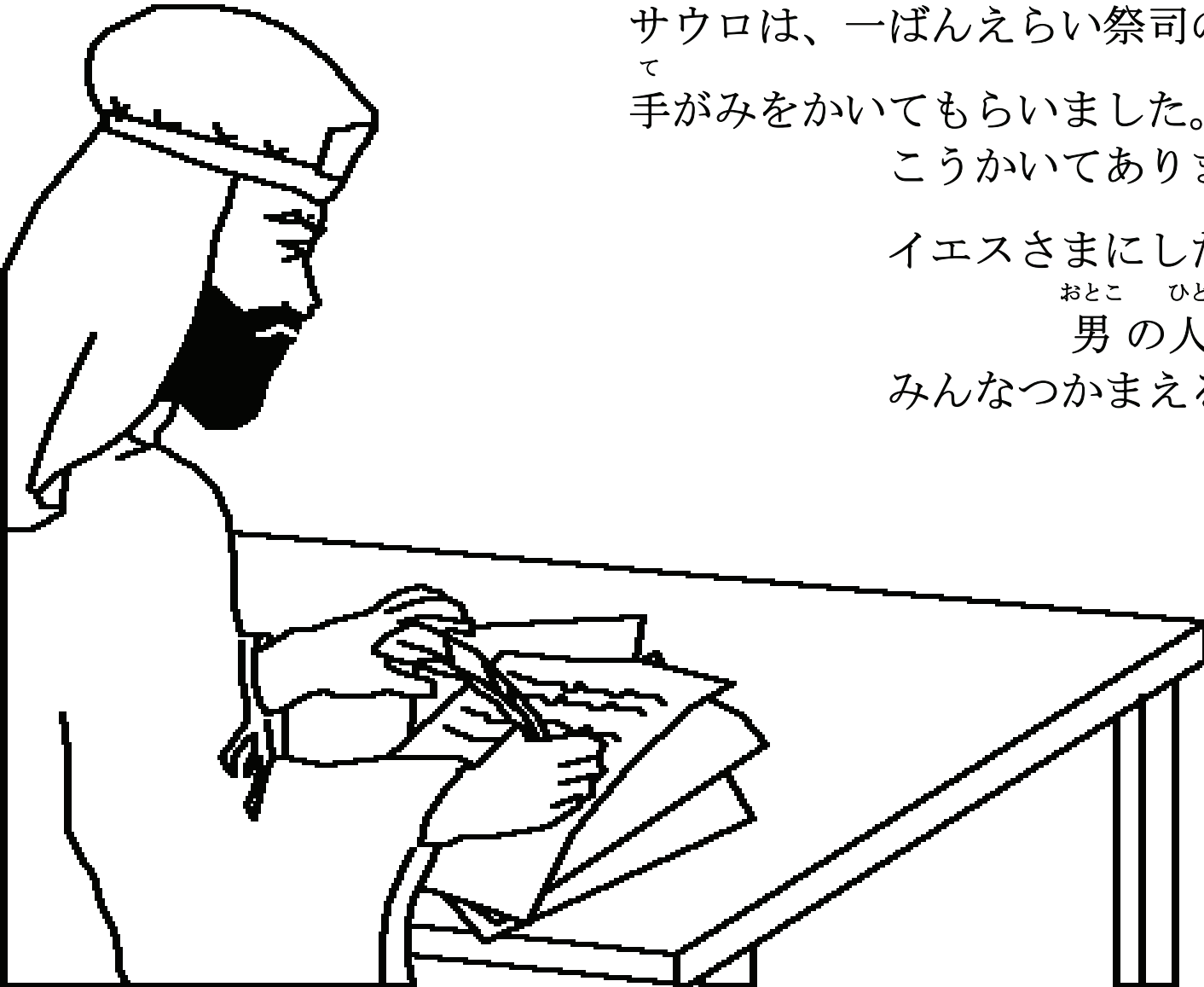
しや
しどう者は、
おお
大よろこびで
い
かえって行
きました。



ところが、人々のなかには、クリスチャンが大きい人もいました。フィリ
ポの友だちのステファノは、そのいかりくるった人々にころされてしまったの
です。かれらは、ステファノに、イエスさまのはなしを、してもらいたくな
かったのです。タルソから来たサウロという名の方は、
ステファノをころすのを手伝った人。サウロは、
クリスチャンの人を、とてもきらっていました。



サウロは、いつもクリスチャンたちを、
ころすぞとおどかしている人^{ひと}です。あるとき、
サウロは、一ばん^{いち}えらい祭司^{さいし}のところ^いへ行って、
手が^てみをかいてもらいました。その手が^てみには、
こうかいてありました。サウロは、
イエスさまにしたがう人^{ひと}をすべて、
男^{おとこ}の人^{ひと}でも女^{おんな}の人^{ひと}でも、
みんなつかまえることができる^と。





なんてみじめなタルソのサウロ！

かみ ひとびと

なぜって、サウロは神さまの人々を、
いためつけているとき、ほんとうは、

しゅ

主なるイエスさまごじしんを、

し

きずつけているって知
らなかったのですから。

かみ

神さまは、

サウロのはくがいを、
やめさせなくては
なりませんね。

でも、どうやって？



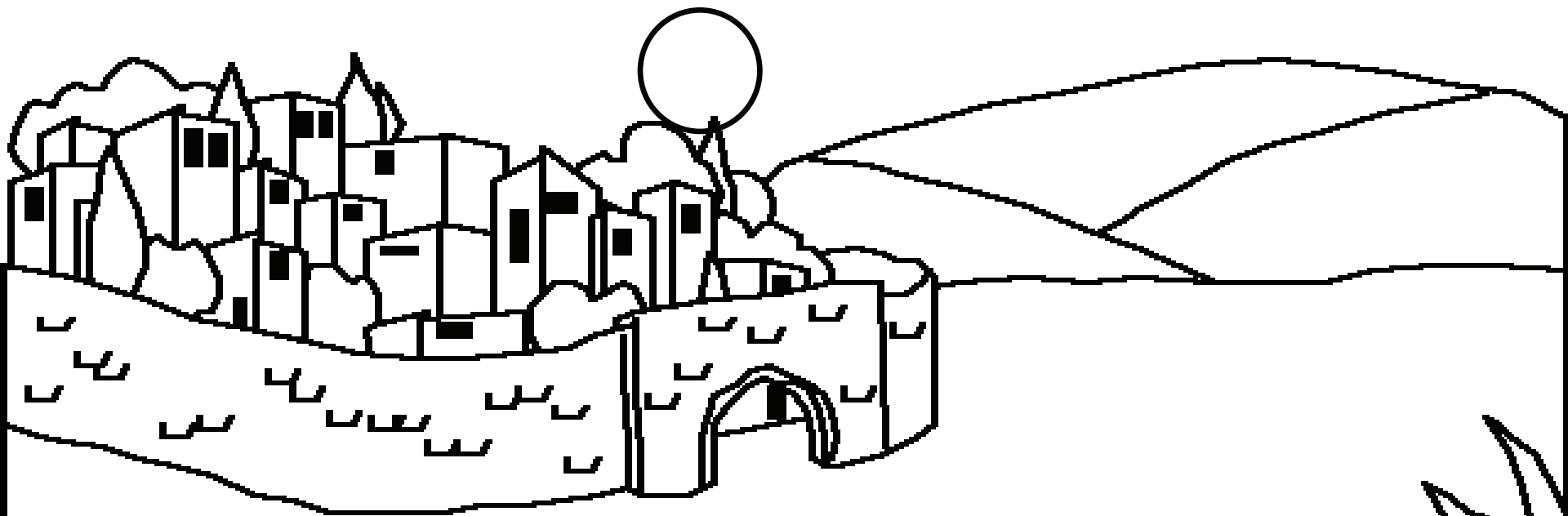
さあ、そこで神さまは、
どうなさったでしょう。
サウロをとらえられたのです！

サウロが、ダマスコの町へのみちを、
あるいているとちゆうです。

神さまは、天からものすごい光を、
かれにてらしました。うわあ、
まぶしい。サウロは、

地めん_じにたおれてしまいました。
あっ、こえがきこえてきますね。





「主よ、あなたはどなたですか？」サウロは、さげびました。
「わたしは、あなたが、くるしめているイエスだ。」ブルブルふるえて、サウロはたずねました。「主よ、わたしは、なにをすればよいのでしょうか。」そこで、主は言われました。「さあ、立ちあがり町へ行きなさい。そこへ行けば、なにをしなければならぬか、おしえられるだろう。」



おとこ ひと

サウロといっしょにいた男の人たちも、
そのこえが、きこえてきます。でも、
どこから、きこえるのでしょうか。

だれにもそのすがたが、見えま

せん。サウロは、地めんから

おき上がりました。—そして、
まわりをキョロキョロと

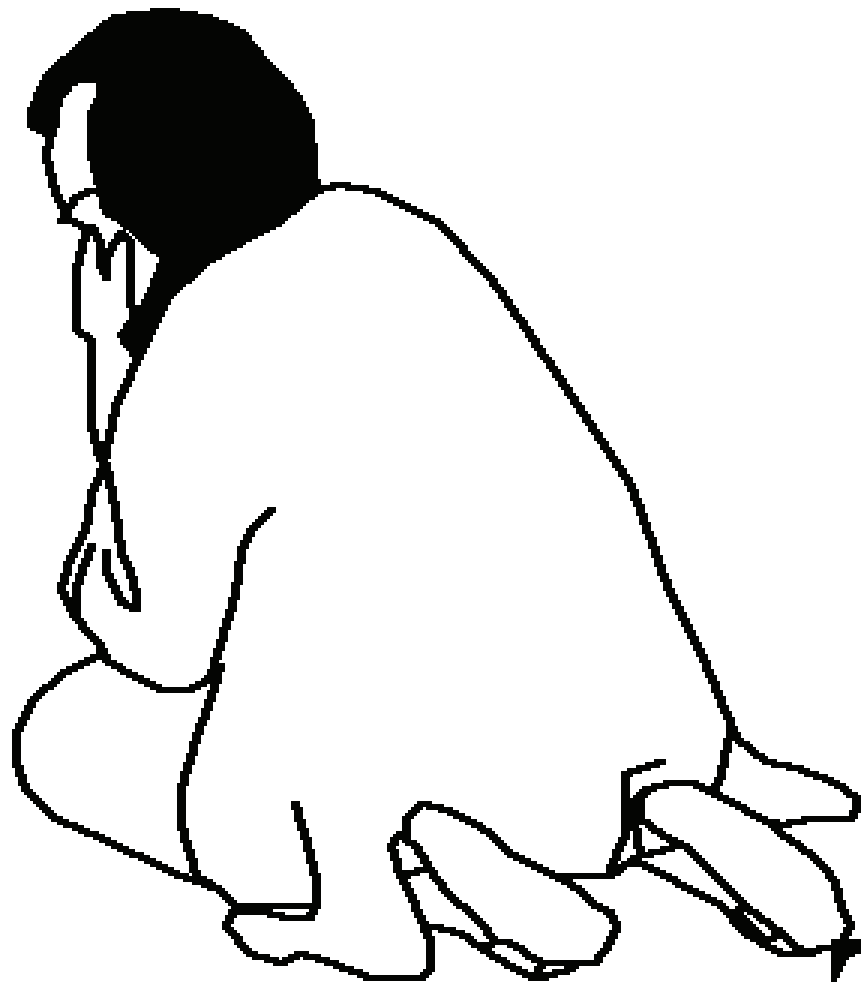
見まわしました。あっ、

なんにも見えません！
そこで、いっしょにい

た人たちは、サウロを
ダマスコまで、つれて
いってくれました。



みつか み まち
三日かん、なにも見えないサウロは、その町でじっとしたまま。
たべることも、のむこともしませんでした。そのあいだ、たぶんサウロは、
ダマスコのみちで会った主なるイエスさまに、
ずっとお祈りしていたのでしょう。



かみ

神さまは、すべてのことを、けいかくされています。

さて、そのダマスコには、アナニアという名の^なでしがいました。「サウロをたすけなさい。」

主は、こう言^いってアナニアをサウロの^{しゅ}ところに、おくられたのです。ああ、こわいなあ。アナニアは、そうおもい

ましたが、ちゃんと主^{しゅ}にしたがいま

したよ。さあ、かれが手^てをサウロ^{うえ}

の上においたときです。どうな^なったとおもいますか。そう、

サウロの目^めが見えるよう^みにな^なったのです。—そして、

いまサウロは、神^{かみ}さまがお

くられた^{せいれい}聖霊で、いっぱい^いにみちあふれています。





せんれい
サウロは、洗礼をうけました。
それから、ぱくぱくたべましたよ。
たべおわったサウルは、

げんき
もうすっかり元気。サウロは、
ちから
力が、ひつようでした。サウロには、
なに
しなくてはならない何かとてもたい
せつなしごとが、あったのです。



さて、サウロは、すぐに会^{かい}どうで、キリストは神さま^{かみ}
のみ子^こだということをおしえはじめましたよ。
えっ、ほんとうだろうか。サウロのことばを
きいた人は、みんなびっくりしていますね。

「この人は、クリスチャンをいじめ、ころして^{ひと}
いた人^{ひと}じゃなかったの？」と言いました。

そしてある人は、
わからないように、
そっとけいかく
しました。
サウロをころ
してしまおう。





まち もん み
サウロのあたらしいてきは、町の門を見はっ
まち
ていますね。もし、サウロが町からでようと
したら、ころしてしまおうとかんがえてい
ます。でも、クリスチャンのあたらしい
とも
友だちが、よるのあいだに、たすけてく
れました。かれをおお大きいかごにのせ、
お
かべからつり下ろしてくれたのです。

それからずっと、クリスチャンのはくがい者しゃ
だったサウロは、あたらしい主人、主イエス
しゅじん しゅ
キリストを心こころから信じるしもべとして、
い
生きていきました。



はくがい者^{しゃ}から、でんどう者^{しゃ}へ

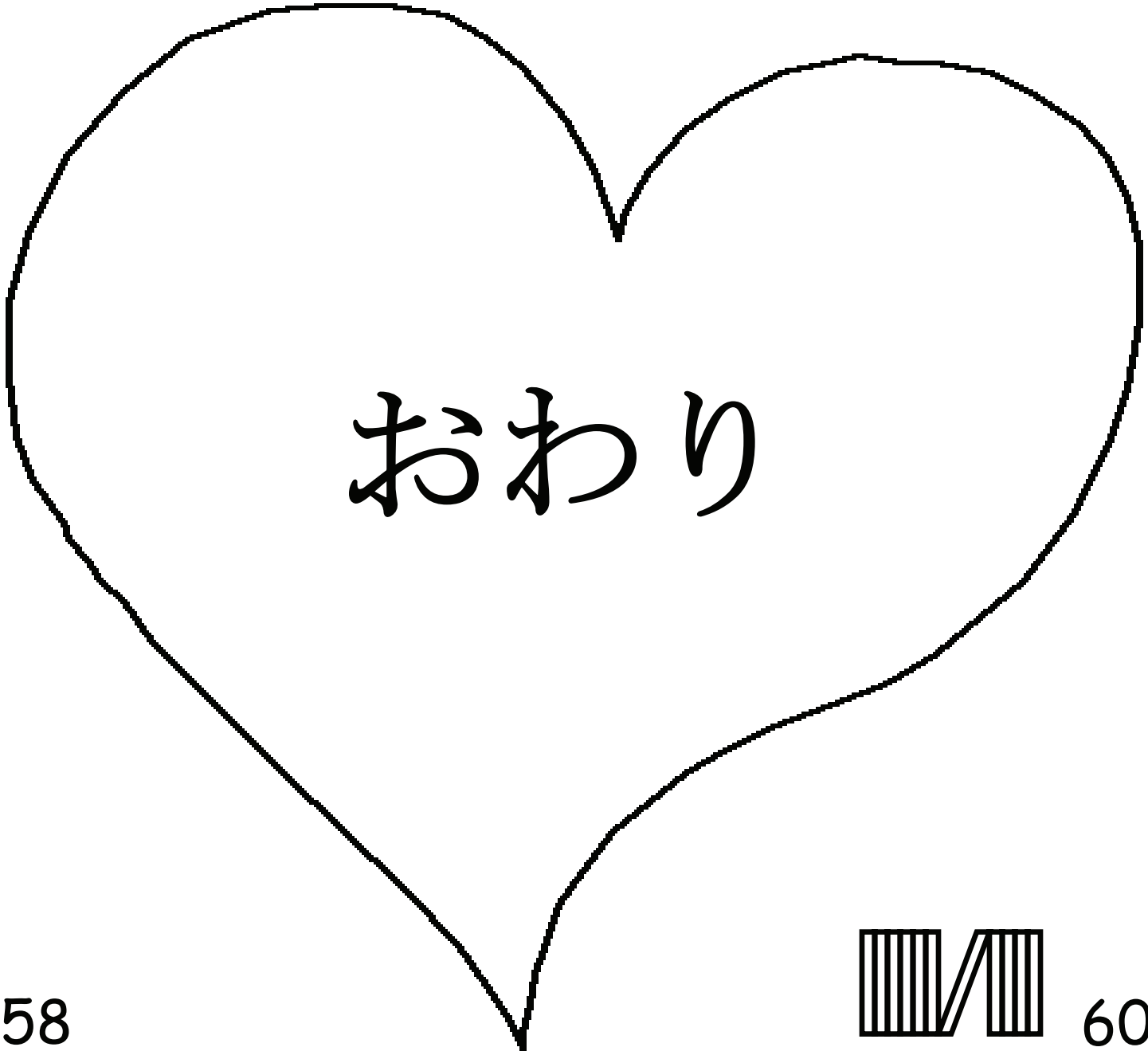
かみ み せいしょ しる
神さまの御ことば、聖書に記されているおはなしです。

しと しょう
使徒のはたらき 8-9 章

あなたの御^みことばが開^{ひら}かれると、光^{ひかり}が与^{あた}えられます。

しへん
詩篇 119:130





おわり



せいしょものがたり わたし かみ
この聖書物語は、私たちをつくってくださったすばらしい神さまについて、
おはなししています。神さまは、あなたが、神さまのことをしてほしいと、
おも
思っています。

かみ わたし かみ
神さまは、私たちが、よくないことをしてしまったことを、思っています。それを、神さま
は、罪とよばれています。その罪のむくいは、死です。

かみ あい ひとり こ
けれども、神さまは、あなたをとて愛していますので、ただ一人のみ子イエスさまを、こ
よ おく つみ つみ し
の世に送ってくださいました。そしてあなたの罪のために、十字架上で亡くなられたのです。けれども
それから、イエスさまはよみがえられ、天国のいえへ、もどられたのです。もし、あなたがイエスさ
まを信じ、ゆるしてくださいとおねがいするなら、イエスさまは、ゆるしてくださいます！イエスさま
いま ところ き なか す
は、今、あなたの所へ来て、あなたのところの中に住んでくださいます。そして、いつまでもイエスさ
まといっしょに生きることができますよ。

もし、あなたが、これがほんとうだと信じるなら、神さまにこう言ってください。
あい かみ わたし かみ しん ひと わたし つみ な
愛する神さま、私は、あなたが神さまと信じます。あなたは人となり、私たちの罪のために亡くなっ
てくださいました。そして、よみがえって、いま生きて
いらっしやいます。どうか、私のところの中に来て、罪をゆるしてください。それで、私は今、あた
らしい命をいただけます。そして、いつか、あなたの所へ行き、いつまでもあなたといっしょにいる
ことができるのです。あなたにしたがえますよう、あなたの子として生きることができますよう、たす
けてください。アーメン

せいしょ かみ ふくいんしょ
まいにち、聖書をよみ、神さまとおはなししましょう！ ヨハネによる福音書3：16

